

平成 28 年度 第 9 回 市長と語ろう！笠間タウントーキング 議事録

開催日時：平成 28 年 7 月 15 日（金）午後 7 時～8 時 30 分

場 所：岩間体験学習館「分校」

出席者：15 名

《フリートーク（意見交換）》

- 1 多面的機能支払交付金について
- 2 高齢者への情報伝達手段について
- 3 農道の看板設置について
- 4 岩間地区の学校統廃合について
- 5 地区の現状について
- 6 Uターンについて
- 7 区加入のための入会金について
- 8 空き家対策について
- 9 移動販売車の運行について
- 10 地元商店などの利用促進について
- 11 岩間体験学習館について
- 12 高齢者の活動の場について
- 13 道路建設計画について
- 14 市政懇談会について
- 15 生活保護の申請について
- 16 歩道の設置について
- 17 要望の出し方について
- 18 イノシシ被害の対策について
- 19 地域交流センターについて
- 20 県立中央病院について
- 21 市立病院について

1 多面的機能支払交付金について

【意見等】

必要な物品を購入する際に 3 者以上から見積書を取らなくてはならないので、手間がかかる。簡略化できないか。また、国からの情報がうまく伝わらないことがあるので、的確な情報発信をお願いしたい。

【回答】

市の単独補助であれば手続きの簡略化はできるかもしれないが、多面的機能交付金は国や県のお金も含まれているので、細かい手続きが必要となります。どのくらいの金額で見積書を取る必要があるのか確認します。

情報発信については、多面的機能支払交付金の制度が変わった時など、必要

な情報は各団体や協議会の会長を通して案内を出していますが、再度きちんと情報発信を行うように、担当課に指示をします。多面的機能支払交付金は、補助率も高く、良い事業ではないかと思えます。ただ、制度を導入している自治体が増えているので、今後補助率が絞られてくるのではとの見通しをもっています。

2 高齢者への情報伝達手段について

【意見等】

民生委員として高齢者の見守り支援を行っているが、高齢者に情報がうまく伝わっていないように感じる。回覧を見逃してしまうこともあるし、ホームページもチェックできない方が多い。上郷地区は年配の方が多く、自主防災組織の役員の方が見守り支援の対象者になっている場合もある。高齢者に直接情報を伝える仕組みが必要ではないか。

【回答】

高齢の方への情報提供はとても大切です。しかし、職員が一軒一軒歩くわけにはいけないので、民生委員や社会福祉協議会の方にお問い合わせしたり、広報紙、ホームページ、フェイスブックなどで情報を伝えています。民生委員や社会福祉協議会の方には、大変ですがご協力いただけたらと思います。

3 農道の看板設置について

【意見等】

農道に車を止めて農作業をしているが、関係ない車が入ってきて、仕事に支障が生じることがある。農耕車優先などの看板を立ててほしい。

【回答】

必要などころには看板を立てていますが、その看板を市役所が立てているのか、農地の所有者が自分で立ててよいのか調べてみます。看板を立てることで、トラブルは多少減らすことができると思います。

4 岩間地区の学校統廃合について

【意見等】

小学校のお子さんがある親御さんから、他地域では小中学校の統廃合に伴い、スクールバスが走るようになりうらやましいとの声を聞くことがある。岩間地区の統廃合の計画や、スクールバスが走る計画はあるのか。

【回答】

昨年、笠間地区の小学校3校と中学校を統廃合しましたが、統廃合についてはそれで終わりです。今後、子どもの数が急激に減少するなどの事情があれば別ですが、現時点で岩間地区での統廃合の計画はありません。

スクールバスについては、国の基準に則り、通学の距離が4km以上であれば利用できるようにしています。ただし、4km未満であっても、希望者には自己負担で利用を認めているケースもありますし、4km以上であっても自転車で通っている人もいます。

5 地区の現状について

【意見等】

駒場地域は人が少なく、高校生以下の子どもがいない。学校までも距離があり、公共交通機関もあまりないので、子育て世帯が移住できるような地区ではない。

【回答】

高校生であれば、親が駅まで子どもを送ることは多いですが、小中学生の場合は、学校や駅まで送ることはあまりありません。公共交通機関がないエリアでは送り迎えの負担が大きくなります。これについては、全国的に事例を勉強しているところです。例えば、一定のエリアに送り迎えが必要な子どもが何人かいる場合に、親が交互で送り迎えをしたりして、ボランティア団体に市が保険に加入したうえで車を貸与するなどの事例があります。

6 Uターンについて

【意見等】

人口が減ると空き家も増え、空き家が荒らされるようなことも考えられる。若い人が子どもを連れて帰って来られるようになると良いと思う。

【回答】

どこかの地区をモデル地区として、子どもが学校に通える仕組みを実施することも検討しています。

7 区加入のための入会金について

【意見等】

3年ほど前に、福島県で環境保全型農業をやっていた方から、上郷地区に移り住みたいという話があり、上郷地区を案内したことがある。しかし、地区の入会金がかかることもあり、結局その方は山梨県に移住することになった。このような若い夫婦が住んでくれるなら、入会金はいらぬのではないか。そのような仕組みを推進できないか。

【回答】

地区で建てた公民館などの施設のお金の返済を、転入者にも負担してもらっているところもあります。これに関しては、地区の考えがあるので、市としては推進しにくいところがあります。私としては、転入者に以前から住んでいる

方と同じ負担を強いるのは無理があるのではないかと思います。半額にするなどしてもよいのではないかと思います。

8 空き家対策について

【意見等】

日本財団では、高齢者施設や障害者施設を建てるときに補助金を出している。市でも補助金を活用し、空き家対策に活かしてはどうか。

【回答】

行政は、日本財団の補助金は対象になりません。NPO や福祉団体、社会福祉協議会などが主な対象となっています。

9 移動販売車の運行について

【意見等】

この辺りの地区は、岩間でもかなり人口減少が進んでいて、高校生以下がほとんどいない。高齢者の移動手段は徒歩や自転車が主になるが、もし近くのスーパーが無くなったら生活ができなくなる。移動販売などのシステムを取り入れられないか。

【回答】

昨年から試験的に、笠間の池野辺地区、大橋地区で週 2 回、10 か所で生協と協力して移動販売を行っています。移動販売に対しては、約 90 万円の補助金を出しています。利用者からは概ね好評です。今年は友部地区で移動販売を行い、その後に岩間地区でも実施します。実施する地区については、買い物が不便な地区を中心に実施していこうと考えています。ただし、地域の商店などへの影響もあるので、販売ルートについては考える必要があります。移動販売についてはカスミも始めているので、岩間であれば、カスミと協力して実施する方法もあると思います。

10 地元商店などの利用促進について

【意見等】

この辺りの人で、友部地区まで買い物に行く人も多い。地元のお店を利用するようにしないと、お店がつぶれてしまう。自分たちの地域は自分たちで守るという気持ちが必要ではないか。

【回答】

できるだけ地元で買い物をするという考えも必要だとは思いますが。今後の少子高齢化に対応して、日常生活の支援は必要になってくると思います。

11 岩間体験学習館について

【意見等】

岩間体験学習館は避難所になっていると思うが、道路よりも低くなっているし、建物も古いが安全なのか。

【回答】

避難所は地域ごとに1か所は必要になるという考えから、建物の丈夫さなどだけではなく、さまざまな観点から指定しています。どのような災害であっても絶対に安全という条件で指定しているわけではありません。

なお、岩間体験学習館は一時集結場所になっており、ここから避難所に移動することになります。

12 高齢者の活動の場について

【意見等】

高齢者の中には、元気な方もいる。そのような方は、何らかの活動をしたいと考えている人も多いと思うが、活動の場をつくる必要があるのではないか。

【回答】

今は元気な高齢者がたくさんいます。そのような方にシニアボランティアとして協力していただき、社会を支えることが大切です。活動の場としては、シルバー人材センター、ボランティア団体、民生委員、社会福祉協議会などがあります。自分の得意なところを生かした活動をしてもらうのが理想です。ただし、市では、活動をしたいと考えている高齢の方を把握しにくいことが課題です。市でもボランティア等の登録制度がありますが、あまり登録してもらえていません。制度を知らない人も多いのではないかと思います。ボランティア活動などに参加する下地は作っていますが、仕組みの充実は必要だと思います。

13 道路建設計画について

【意見等】

旧平沢工務店跡地につくっている道路は小学校までつながるのか。また、JR常磐線を越えて市役所まで行く道路はどうか。

【回答】

既存の道路に結合させて、小学校までつながる予定です。JR常磐線を跨ぐ道路については、莫大なお金がかかるので難しいです。道路に関しては、砂利の道路や、幅が4mに満たない道路の整備は必要ですが、そうでない道路を整備するよりも、生活に必要な部分に予算を割くことが大切だと思います。

14 市政懇談会について

【意見等】

他の地区での市政懇談会に参加している人の年齢層はどのくらいか。どのよ

うな意見がでているか。

【回答】

区長や市政に関心がある人が中心で、60歳以上の方がほとんどです。今年は商工会や石材組合、青年経営者クラブなどとも懇談会を行っていますが、横のつながりがほしいという意見があり、それぞれの団体の代表者が集まる機会を設けることになりました。これは大きな前進だと思います。

意見としては、地域の課題に関するものが多く、そのほか少子化やまちづくり、観光など幅広くいただいています。

15 生活保護の申請について

【意見等】

以前は民生委員の意見書が必要だったが、今は必要なくなり、必要な書類さえ揃えば、申請が通るようになっている。地元の民生委員は、行政よりも申請者のことが見えていることもある。生活保護の申請については、より慎重に判断すべきではないか。

【回答】

生活保護は税金を使っているのだから、判断は厳密にしたいと考えています。生活保護については、数年前に国の通達で前向きに認めるようにとの指示があり、民生委員の意見書を廃止した経緯があります。しかし、一定の厳密さは必要だと考えています。民生委員の方の意見をよく聞いて判断したいと思います。

16 歩道の設置について

【意見等】

岩間体験学習館前の県道の歩道が、途中で無くなっている。スピードを出す車もあり、危ないので歩道を設置してほしい。

【回答】

市では、頂いた要望をまとめて、優先度を考えながら、毎年県に提出しています。優先順位もありますし、要望を出してから調査も必要ですので、すぐに実現するわけではないことをご理解ください。

17 要望の出し方について

【意見等】

市に道路の改良を要望した場合、たくさんの要望に埋もれてしまって、取りかかってもらえないこともあるのか。同じ要望でも、何度か出すことには意味があるか。

【回答】

市には、たくさんの要望が届くので、基準に基づいて優先順位をつけて判断しています。要望は一度頂ければ大丈夫です。道路の改良は、やればやるほど維持管理費がかかります。砂利など必要性が高い道路に限定して改良を行うなど、限られた予算をどう使うか、考えていく必要があります。

また、市道でも砂利道の改良などの場合、区長さんが地主さんの協力も得たうえで要望書を持ってきていただけることがあります。そのような場合は、なるべく早く作業を進めたいと考えています。何かあれば要望書を出していただけたらと思います。

18 イノシシ被害の対策について

【意見等】

家の近くにイノシシが出て、家庭菜園の畑が荒らされる。対策に力をいれていただきたい。

【回答】

イノシシの駆除は猟友会にお願いしています。市では電気柵の設置補助や、免許を取ったうえで罾を設置してもらうようにお願いしています。

19 地域交流センターについて

【意見等】

岩間地区の地域交流センターの建設計画はどうなっているのか。

【回答】

予定通り岩間駅の西側に建設します。今年の暮れくらいに着工予定です。

20 県立中央病院について

【意見等】

県立中央病院は紹介状が無いと診察してもらえないので、不便なところがある。病気によっては、直接、県立中央病院に行きたい場合もある。

【回答】

大きな病院は全国的に紹介状が必要になっています。これは、本当に救急の患者さんを優先して診察するためで、軽い症状の方は地元の病院にかかっただけのことになっています。

21 市立病院について

【意見等】

市立病院は建て替えを予定しているが、病院としての位置づけはどうか。

【回答】

市立病院は、在宅医療や訪問診療、訪問看護、訪問リハビリなどが中心で、いずれは薬の訪問指導も考えています。